

令和8年度

船橋の台所事情



船橋市の**予算**を
わかりやすく説明します



も く じ

予算の基礎知識	3
一般会計歳出	5
一般会計歳入	8
市民生活に身近な予算の内訳	10
船橋市の家計簿	11
船橋市の財政状況	12
令和8年度予算の主要事業	18

予算の基礎知識

「予算」とはなんですか？

1年間のお金の使い道、それが予算です。

市では、お金の使い道を毎年4月から翌年の3月までの年度単位で考えます。

この1年間に市に入ってくる収入を見積もり、収入の範囲内で市が行っているいろいろな仕事（福祉、教育、ごみ処理、道路整備、消防など）にどのくらいのお金を使うかという支出の計画を立てます。これを「予算」といい、市の仕事は、この予算に従って行われます。

予算はどのように決めるの？

収入

市民の皆さんに納めていただく税金、公民館やスポーツ施設などの使用料、国や県からの補助金などがどのくらい入ってくるのかという見積もりをします。

支出

日頃、市民の皆さんから寄せられる意見や要望も取り入れながら、次年度の仕事の予定を立て、その仕事に必要な金額を見積もります。見積もった収入ですべての仕事ができればよいのですが、とても収入の範囲には収まりません。

そこで、市民生活を守るために緊急性や必要性が高いかどうか検討し、優先度が高いと判断したものについて、第3次船橋市総合計画との整合を図りながら次年度に行う仕事を決め、予算案を作成します。

お金の使い道を決めることはとても大切なので、市民の代表で構成される市議会で審議してもらい、議決を受けてはじめて予算が決まります。



決まった予算は変えられないの？

4月から翌年の3月までの1年間の予算は、3月に市議会での議決を受けて決まります。これを「当初予算」と言います。

しかし、年度の途中で国が新たな制度を作ったり、台風などの災害が起こったり、社会情勢の変化や想定できなかったことが生じることもあります。

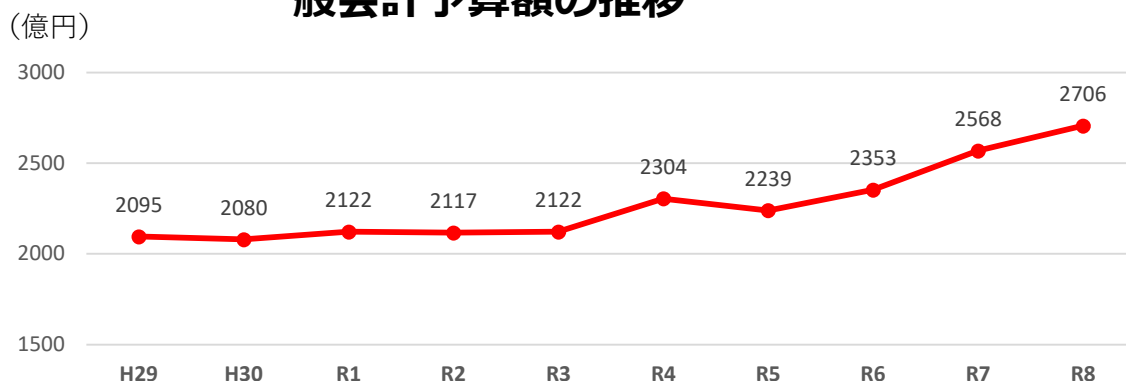
年度の途中でも、その変化や想定外のことに対応するために、追加の予算を作ります。これを「補正予算」と言います。補正予算も当初予算と同じく市議会の議決を受けて決まります。

予算の規模と会計の仕組み

一般会計

市の基本的な仕事（福祉、教育、ごみ処理、道路整備、消防など）を行うための会計です。一般的に市の予算と言えば「一般会計」をさし、市税を主な財源としています。令和8年度の予算規模は、2706億4000万円で前年度比5.4%の増となりました。

一般会計予算額の推移



特別会計

特定の収入（国民健康保険料、介護保険料など）がある、特定の目的のための予算を経理する会計を「特別会計」と言います。

お金の出し入れをわかりやすくするために一般会計と財布を分けて管理します。

区分		令和8年度予算額
特別会計	国民健康保険事業	5 1 1 億 3 4 0 0 万円
	公共用地先行取得事業	1 5 億 2 1 0 0 万円
	船橋駅南口市街地再開発事業	6 億 9 8 0 0 万円
	介護保険事業	5 7 1 億 3 4 0 0 万円
	母子父子寡婦福祉資金貸付事業	7 2 0 0 万円
	後期高齢者医療事業	1 1 8 億 6 1 0 0 万円
	計	1 2 2 4 億 2 0 0 0 万円

公営企業会計

市が企業的性格を持った事業（市場、病院、下水道）を経営するための予算を経理する会計を「公営企業会計」と言います。事業の収入を主な財源としています。

特別会計と同様にお金の出し入れをわかりやすくするために、一般会計や特別会計と財布を分けて管理します。

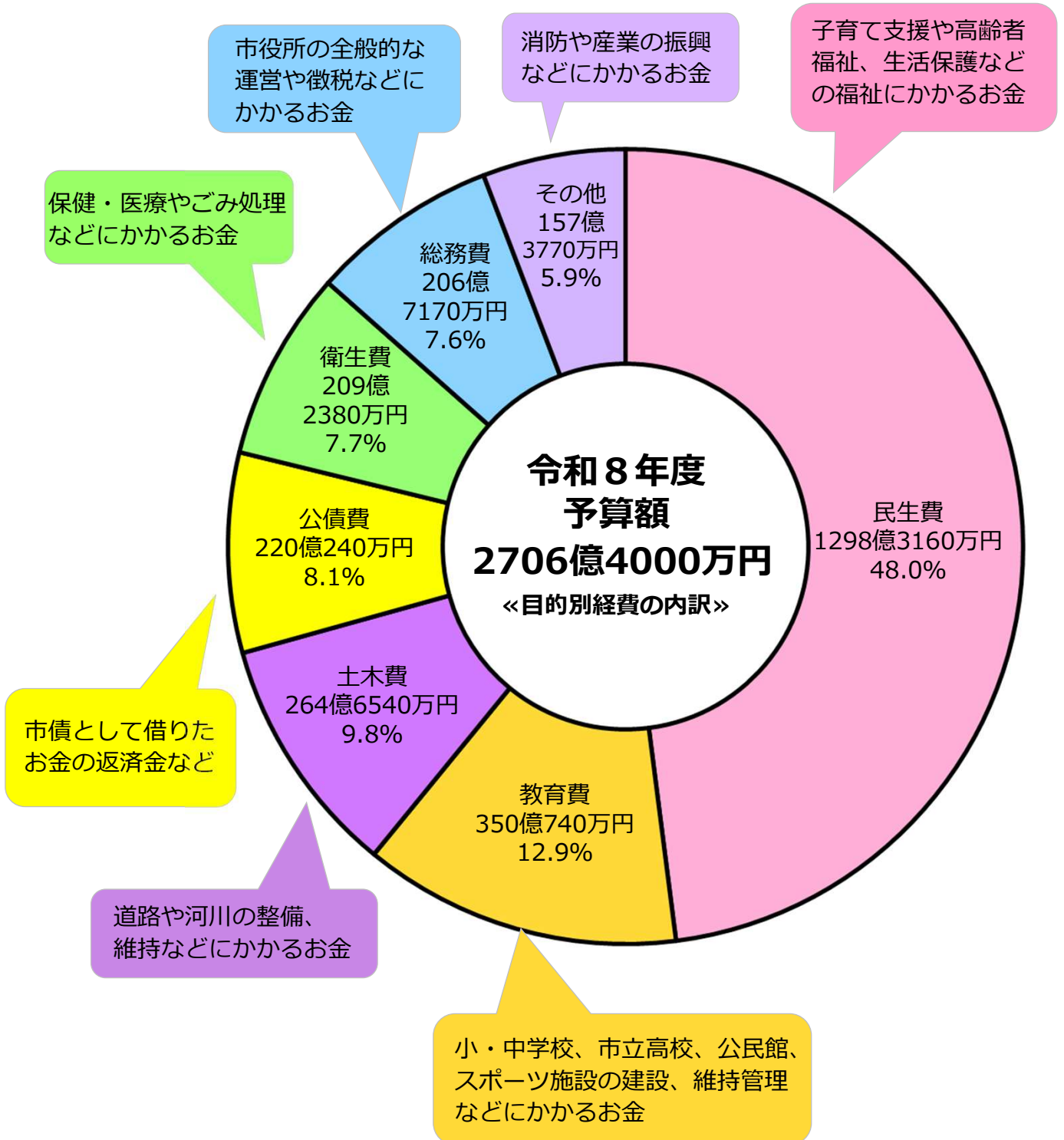
区分		令和8年度予算額
公営企業会計	地方卸売市場事業	1 4 億 6 6 0 0 万円
	病院事業	2 3 8 億 4 2 0 0 万円
	下水道事業	4 1 2 億 5 5 8 2 万円
	計	6 6 5 億 6 3 8 2 万円

一般会計歳出

市の支出にはどんなものがあるの？

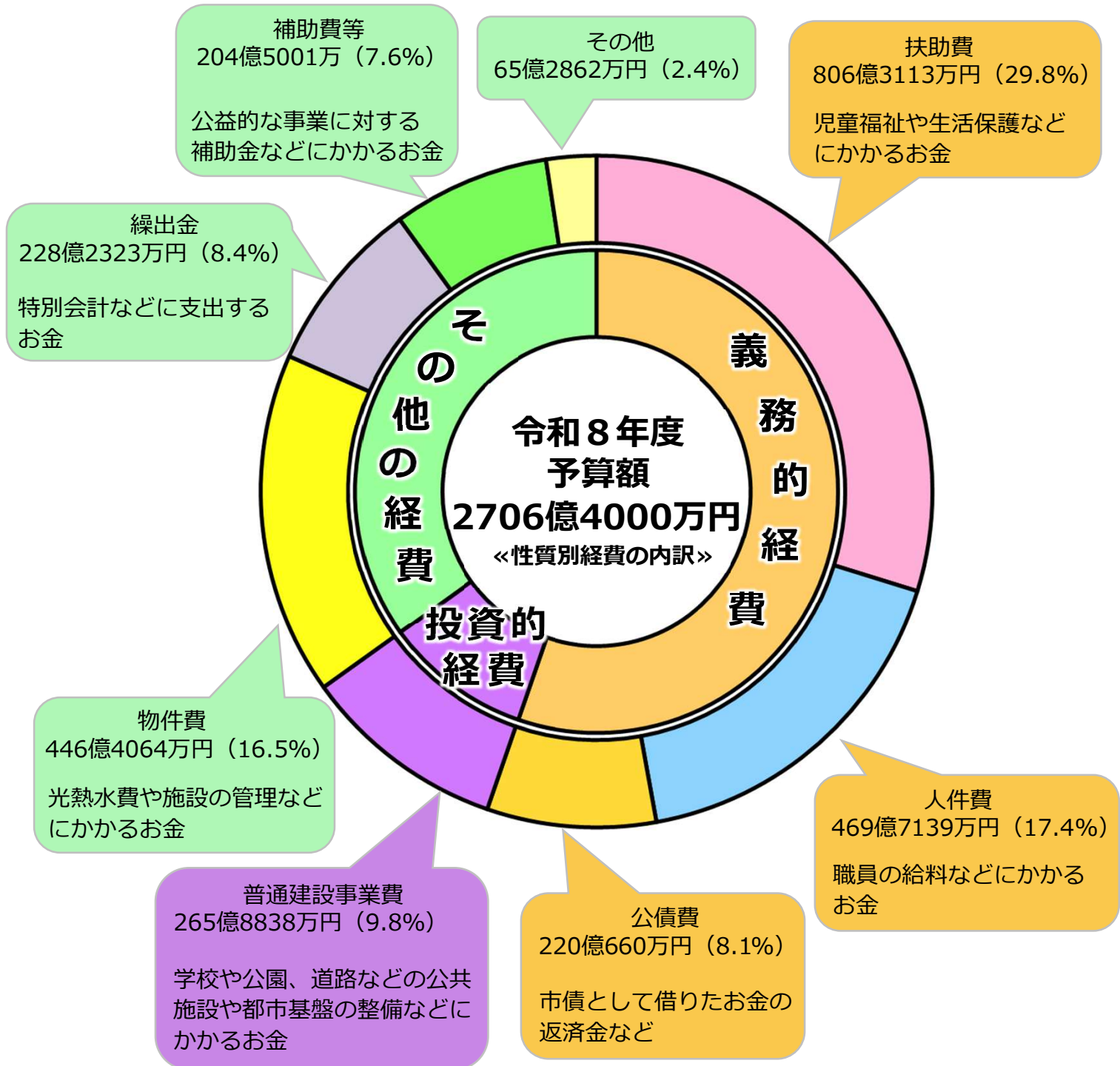
目的別経費による内訳

市の歳出（1年間の市の支出）を経費の目的に着目して分類すると、下のグラフのようになります。



性質別経費による内訳

市の歳出を経費の性質に着目して分類すると、下のグラフのようになります。



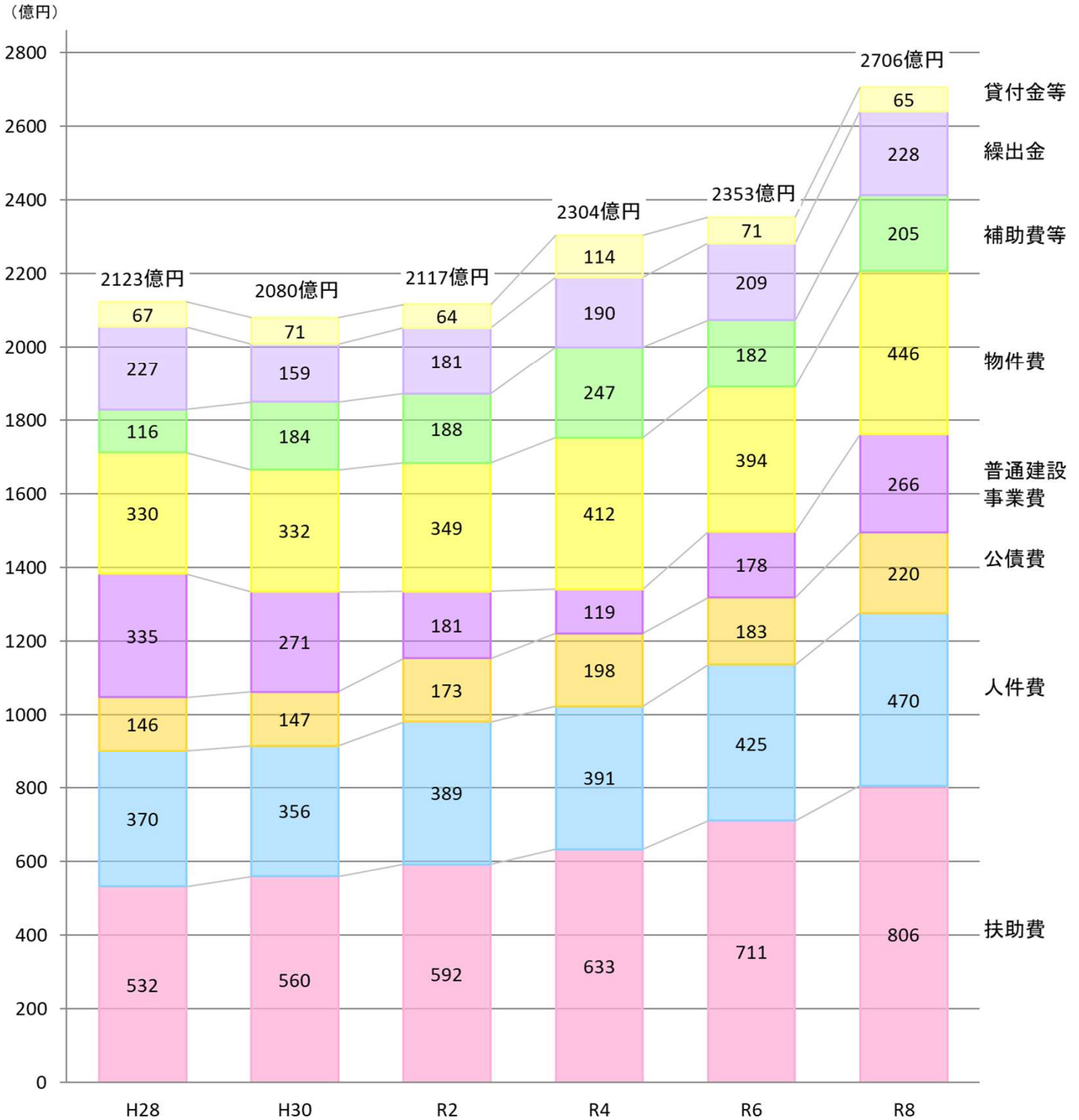
義務的経費・投資的経費とは…

- 義務的経費・・・法令などにより支払いが義務付けられていて、減らすことが難しい経費
- 投資的経費・・・道路、橋、公園、学校などの建設や大規模な修繕などの経費

性質別経費の推移

予算額を10年前と比較すると歳出全体で583億円も増えています。そのうち最も増加額の大きい義務的経費である扶助費は、児童手当や障害者福祉費などの社会保障経費の増加により、10年前に比べ274億円増加しています。

一般会計 歳出予算額の推移（性質別）



一般会計歳入

市の収入にはどんなものがあるの？

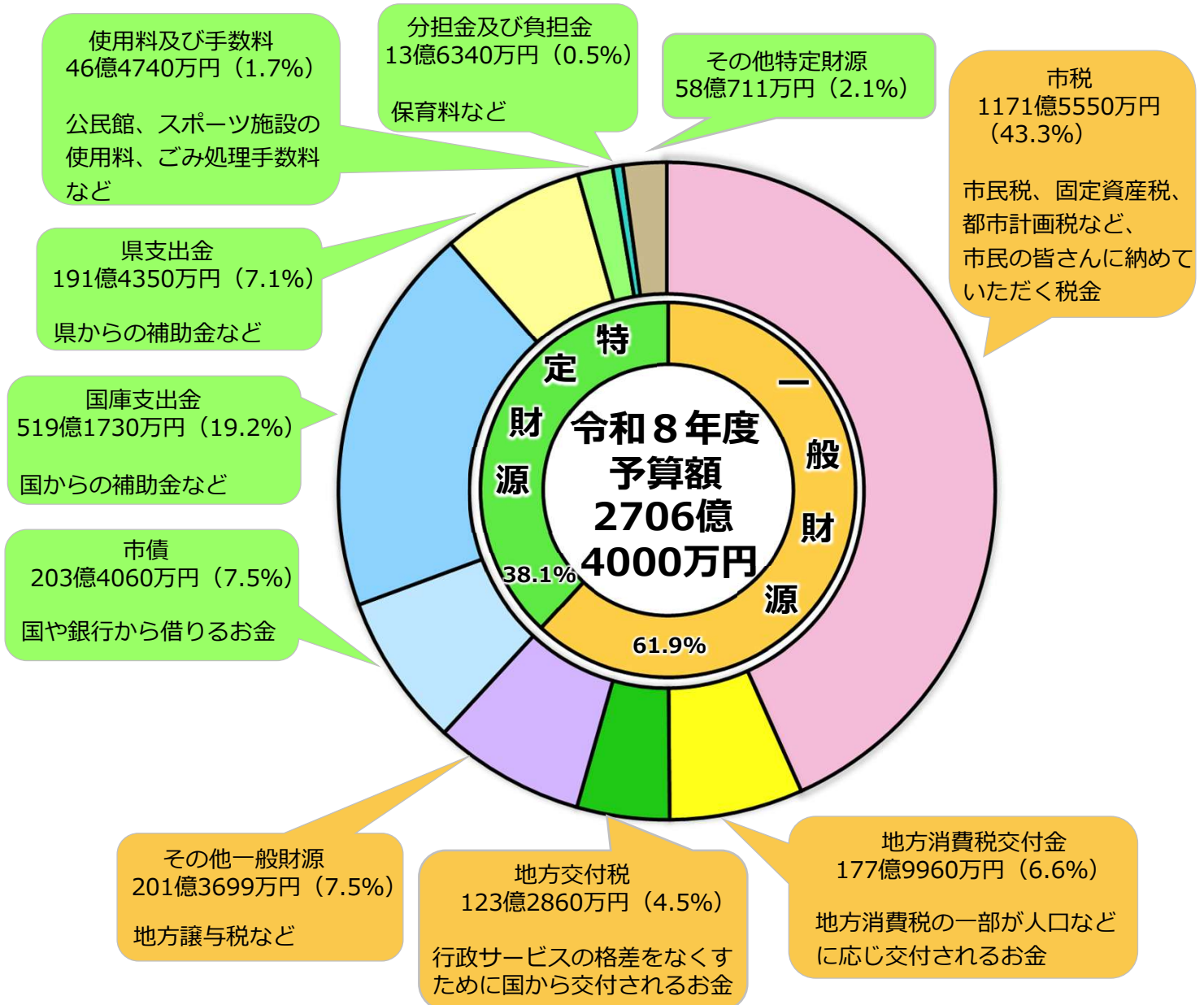
市の歳入（1年間の市の収入）のうち、最も大きいものは「市税」です。また、国や県からもらう「国庫支出金」や「県支出金」、借入金である「市債」などがあります。

これらの収入は、使い道が自由な「一般財源」と使い道が決められている「特定財源」に分けられます。

一般財源は、市が受け取る時点で使い道が決まっていないお金のことで、市税や地方交付税などがあります。

特定財源は、市が受け取る時点で使い道が決まっているお金のことで、道路などの建設事業に使うために国からもらう補助金や、公共施設の改修工事などに使うために国や銀行から借りる市債などがあります。

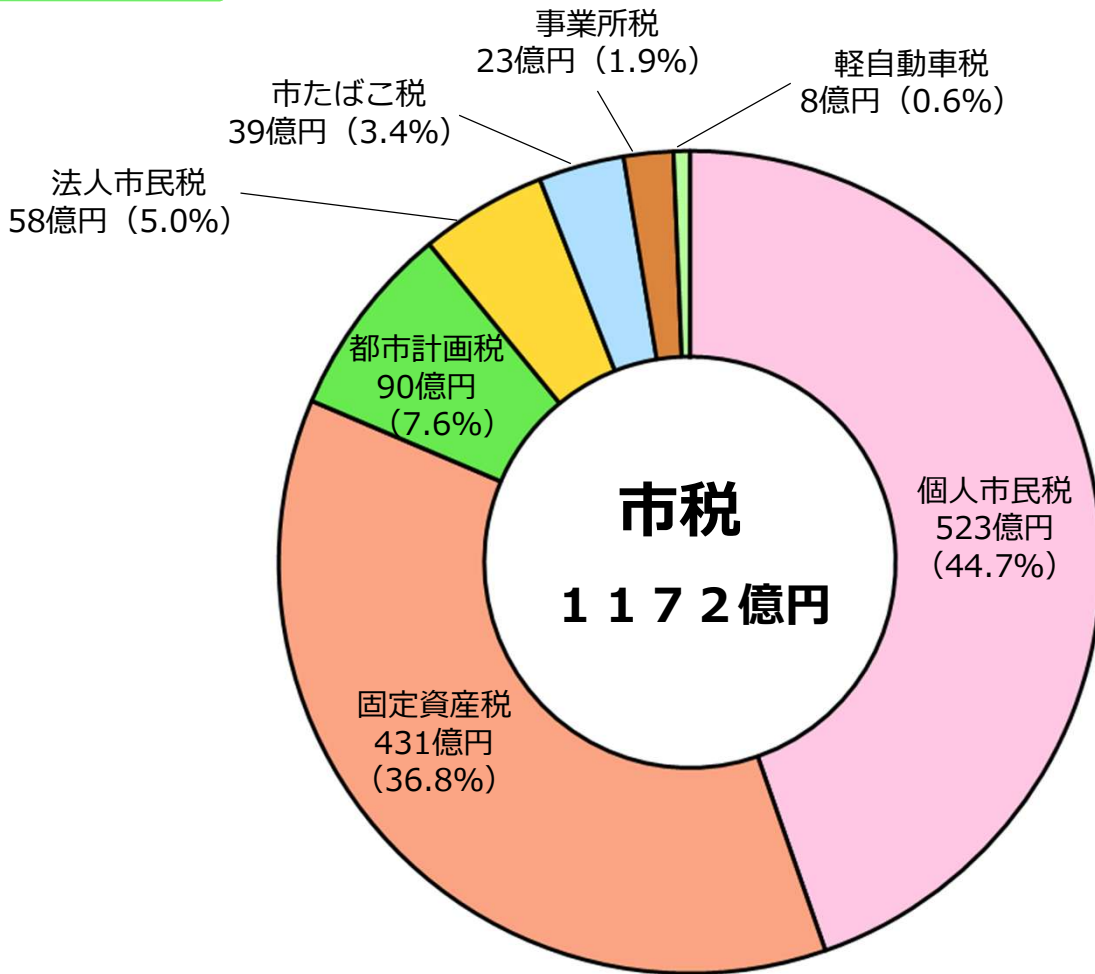
市民の皆さんの様々なニーズにお応えする仕事を行うためには、使い道を自由に決めることができる「一般財源」の確保が重要です。



市税の概要

市税は、市の歳入の約半分を占めています。そのうち、「個人市民税」と「固定資産税」が多くを占めています。市税の中では、景気の影響を受けやすい「法人市民税」の割合が低いことから、比較的変動の少ない歳入構造が本市の特徴です。

市税の内訳



個人市民税	市民の皆さんに納めていただく税金
固定資産税	土地・家屋・償却資産（事業用の機械など）にかかる税金
都市計画税	下水道・道路などを整備する都市計画事業の費用に充てるための税金
法人市民税	市内に事業所等がある法人に納めていただく税金
市たばこ税	たばこの製造業者などが市内の小売販売者に売り渡した「たばこ」にかかる税金
事業所税	都市環境の整備などの費用に充てるため事業所などに納めていただく税金
軽自動車税	軽自動車や原付バイクなどにかかる税金

市民生活に身近な予算の内訳

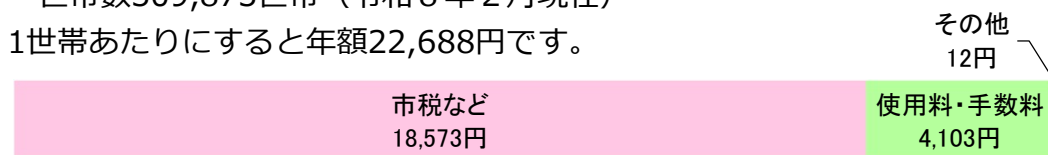
皆さんが納める税金や国や県からの補助金がどんな事業にどのくらい使われているかを市民生活に身近な予算を例に紹介します。

①ごみの収集・処理にかかる予算

ごみの収集や焼却にかかる人件費や清掃工場の運営費などで年間70億円かかります。

世帯数309,873世帯（令和8年2月現在）

1世帯あたりにすると年額22,688円です。

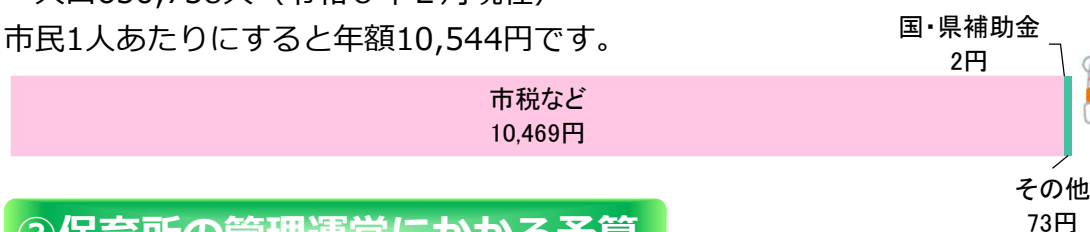


②消防・救急にかかる予算

消防活動や救急活動にかかる人件費や消防車両の維持費などで年間69億円かかります。

人口650,758人（令和8年2月現在）

市民1人あたりにすると年額10,544円です。



③保育所の管理運営にかかる予算

認可保育所の管理運営にかかる人件費や施設の維持費などで年間245億円かかります。

入所児童数12,155人（令和8年推計）

入所児童1人あたりにすると年額2,017,417円です。

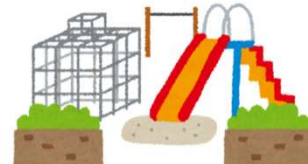


④公園の整備・維持管理にかかる予算

公園の整備や維持管理にかかる費用などで年間39億円かかります。

人口650,758人（令和8年2月現在）

市民1人あたりにすると年額5,925円です。

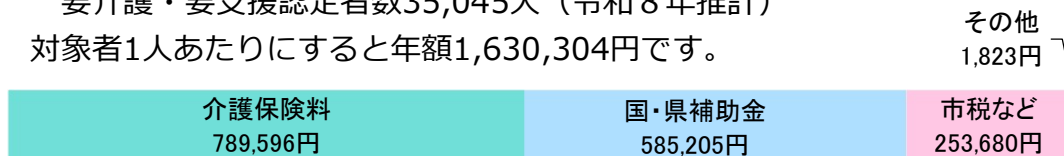


⑤介護保険サービスにかかる予算

介護サービス・介護予防の実施等にかかる費用などで年間571億円かかります。

要介護・要支援認定者数35,045人（令和8年推計）

対象者1人あたりにすると年額1,630,304円です。



船橋市の家計簿

市の予算額（一般会計）は、2706億4000万円と非常に大きいので、額を縮小して市の予算を家計簿に置き換えてみました。給与年収478万円（※）（給与月収398,000円）であらわしています。

毎月の収入		毎月の支出	
給 与	398,000円	食 費	82,000円
<small>（うち基本給〈市税〉：206,000円） （うち諸手当〈地方譲与税、地方消費税交付金、 国・県支出金など〉：192,000円）</small>		人件費	
家賃収入	21,000円	医療費など	142,000円
<small>分担金・負担金、使用料・手数料、財産収入など</small>		扶助費	
親からの仕送り	21,000円	光熱水費や電話代などの生活費	126,000円
<small>地方交付税</small>		物件費、補助費等、維持補修費など	
借入金	36,000円	子どもへの仕送り	40,000円
<small>市債</small>		他会計への繰出金	
		家の増改築費	47,000円
		普通建設事業	
		ローン（借金）の返済	39,000円
		公債費	
合 計	476,000円	合 計	476,000円

※年収478万円は、国税庁が調査した令和6年分民間給与実態統計調査の平均給与額

船橋市の財政状況

市の貯金、借金などの状況や、市の財政の健全化を図る指標を他市との比較を交え説明します。

船橋の財政状況はいいの？

平成19年に、自治体の財政破綻を未然に防ぐことを目的とした「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が制定されました。

自治体財政の早期健全化や再生の必要性を判断する「健全化判断比率」として、4つの財政指標があります。

これらの指標のうち1つでも国が定めた基準（早期健全化基準）以上の数値になった場合には、財政健全化計画を策定し、財政状況改善の方策を議会の承認を受けたうえで公表する必要があります。船橋市は現在のところ、いずれの指標もこの基準を下回っています。このうち特に大切な2つの指標を説明します。

健全化判断比率

（令和6年度決算 単位：％）

指標	船橋市	中核市平均	早期健全化基準
実質公債費比率	3.6	5.4	25.0
将来負担比率	-	33.1	350.0
実質赤字比率	-	-	11.25
連結実質赤字比率	-	-	16.25

実質公債費比率

収入に対する公債費の占める割合で、数字が小さいほどその年度の借金返済の負担が小さいということです。

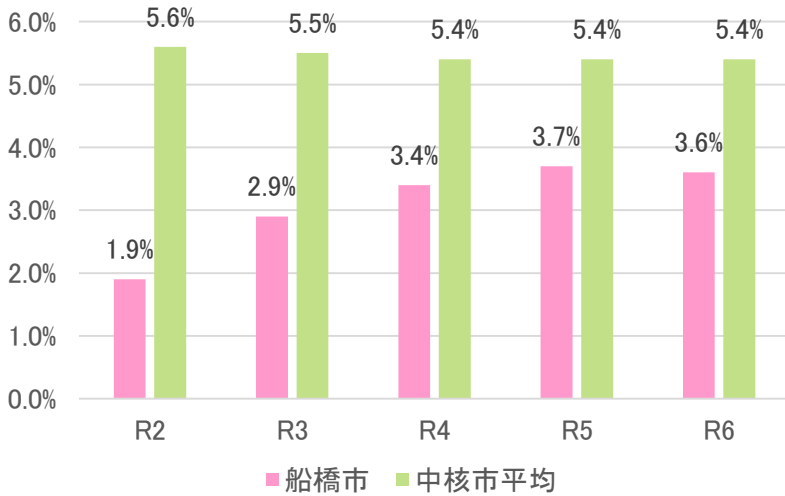
令和6年度決算では、固定資産税等の市税が増加したことなどによって収入が増え、3.6%になっており、県内54市町村中11番目に小さく、全国の中核市62市中でも19番目の小ささです。

将来負担比率

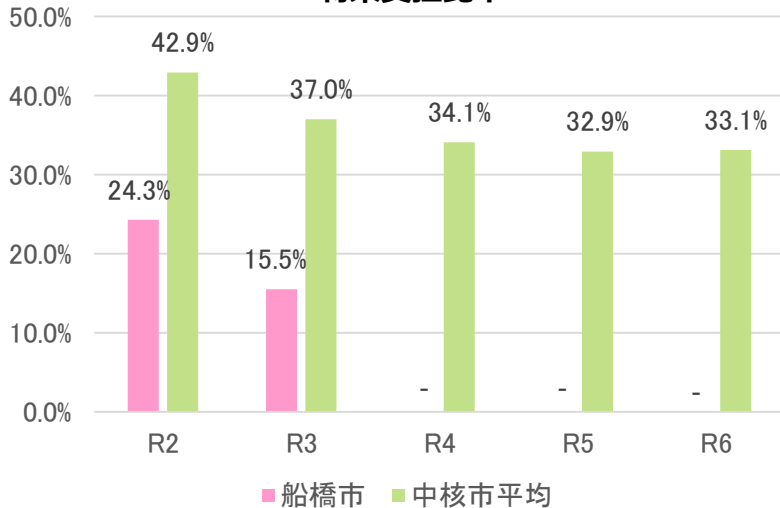
市の実質的な借金から貯金などを除いた額が、収入の何年分かを示したもので、数字が小さいほど将来の借金返済の負担が小さいことを示しています。

令和6年度決算では、令和5年度と同様、借金の返済が進んだことなどによって、将来返済する予定である借金を貯金などで十分返済可能となったため「-」で表示していますが、将来の財政需要に備えるため、今後も堅実な財政運営が必要となっていきます。

実質公債費比率



将来負担比率



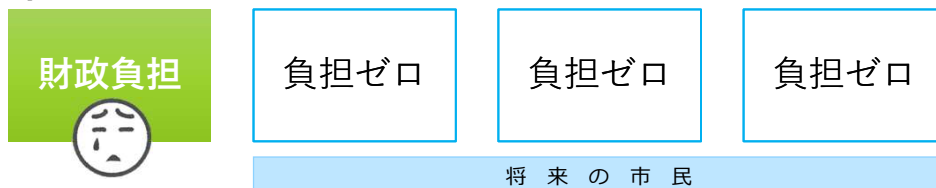
なぜお金を借りるの？

「借金は少ない方が良い」と考えるのは当然ですが、学校や公園などの公共施設の整備には多額の費用が必要です。これらの費用を1年間の予算だけで賄ってしまったら、その1年は他の仕事ができなくなってしまいます。

また、学校や公園などは長い期間たくさんの市民が使いますが、1年間の予算で整備してしまうと、将来の市民は整備費用の負担なしに施設を利用できることとなります。

そこで、「市債」という借金をして、1年間の整備費用の負担を小さくし、何年にもわたり返済することで、施設を利用する将来の市民にも整備費用を公平に負担してもらうことができます。

市債(借金)を活用しないと・・・公共施設を整備する年度の市民が全額負担し、将来の市民は負担なし



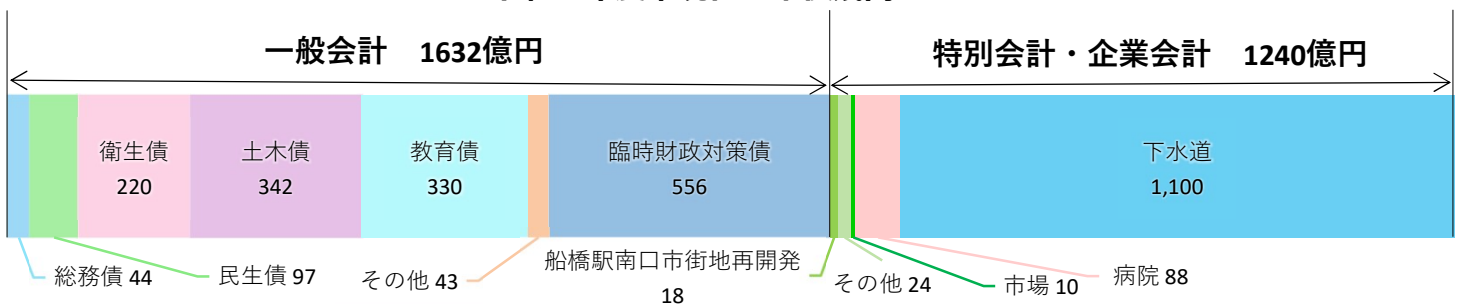
市債(借金)をして・・・将来の市民も整備費用を公平に負担します



今までいくら借りて、何に使ってきたの？

市債の残高は、令和6年度末に、一般会計で1632億円、全会計で2872億円となっています。その使い道は、学校や公民館、道路、下水道といった施設の整備や改修が中心です。近年は、公共施設の大規模改修や道路・河川などの整備に多く使われています。また、「臨時財政対策債」の残高が高い割合を占めています。

令和6年度末現在 市債残高



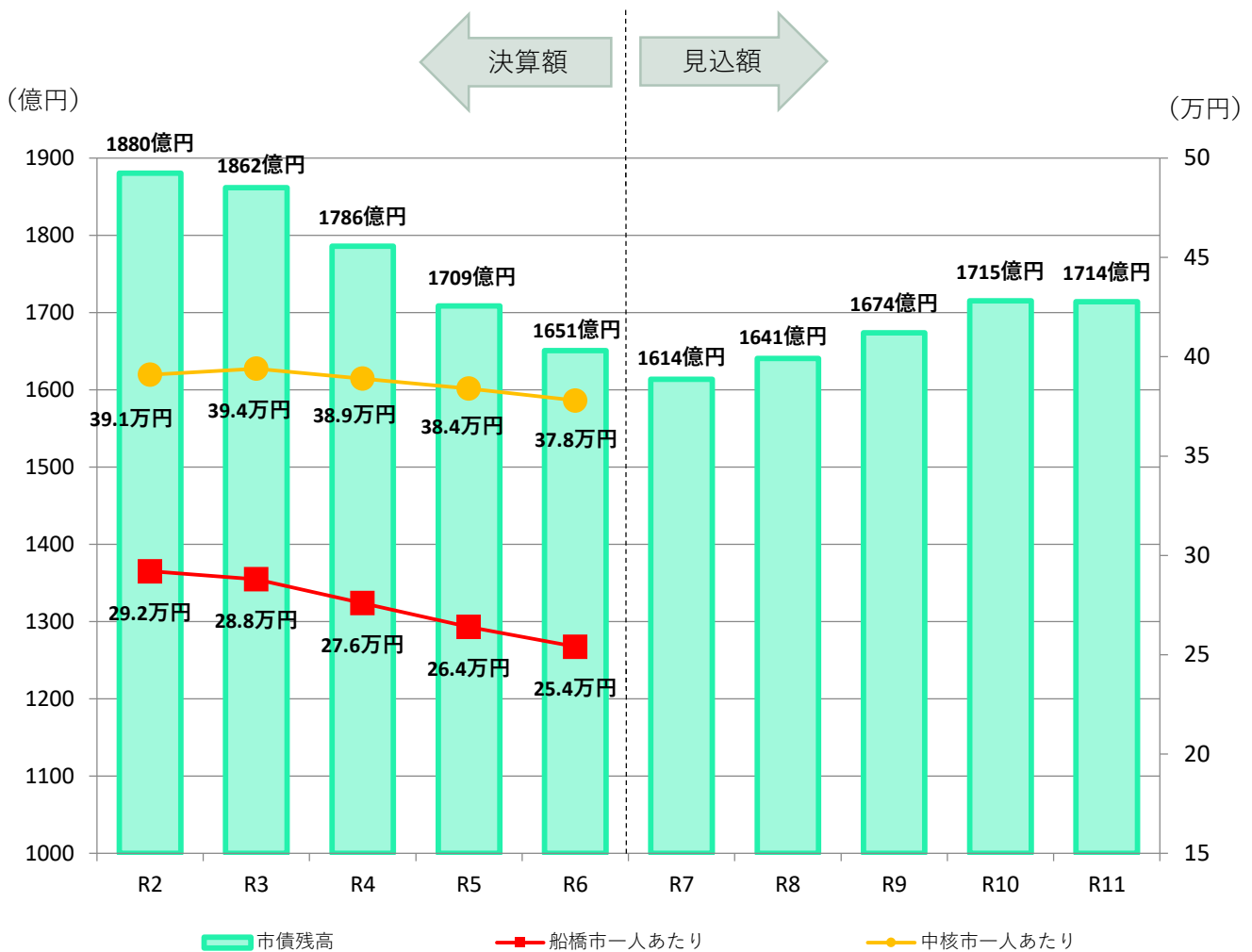
- **総務債**……出張所、防災施設の整備、東葉高速鉄道への出資など
- **民生債**……障害者・老人・児童福祉施設、保育所の整備など
- **衛生債**……清掃工場、リハビリテーション病院の整備など
- **土木債**……道路、橋りょう、公園、河川の整備など
- **教育債**……小・中学校、高等学校、公民館の整備など
- **臨時財政対策債**…国が地方に交付する地方交付税の一部について、市が代わりにする借金で、返済にかかる費用は将来の地方交付税に加算されて交付されます

近年の市債の残高は？

令和6年度末の市債残高は、普通会計で1651億円、市民一人あたりの金額は254,219円となります。これは全国の中核市62市（平均377,715円）の中では11番目に少ない額となります。

小・中学校等の公共施設の大規模改修や清掃工場の建替、臨時財政対策債の発行により増加していた市債の償還が進みますが、児童相談所の建設や学校の建替等で新たな市債の発行もあり、残高は1700億円前後で推移する見込みです。

市債残高の推移

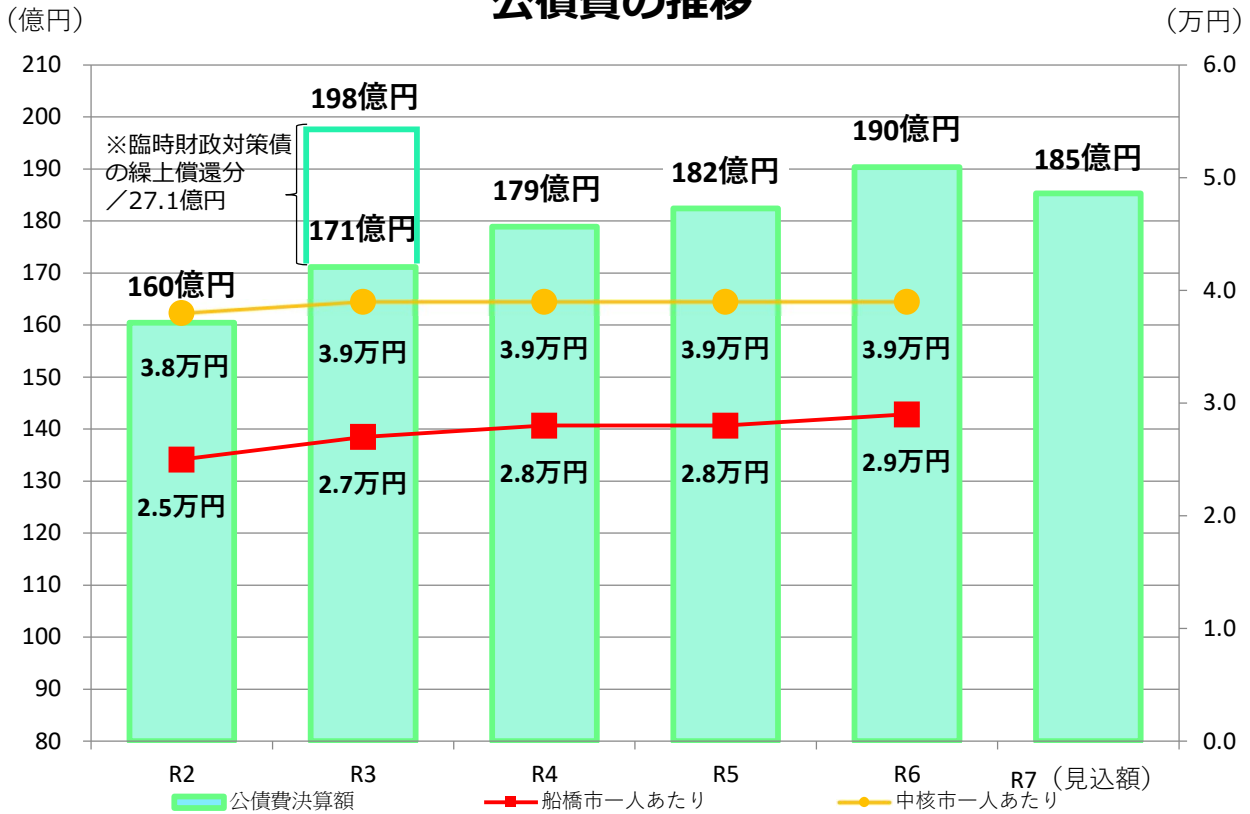


普通会計ってなに？

全国の自治体の予算の作り方をみると、介護サービス事業や区画整理事業などを一般会計で行ったり、特別会計や企業会計で行ったりとバラバラな部分があります。

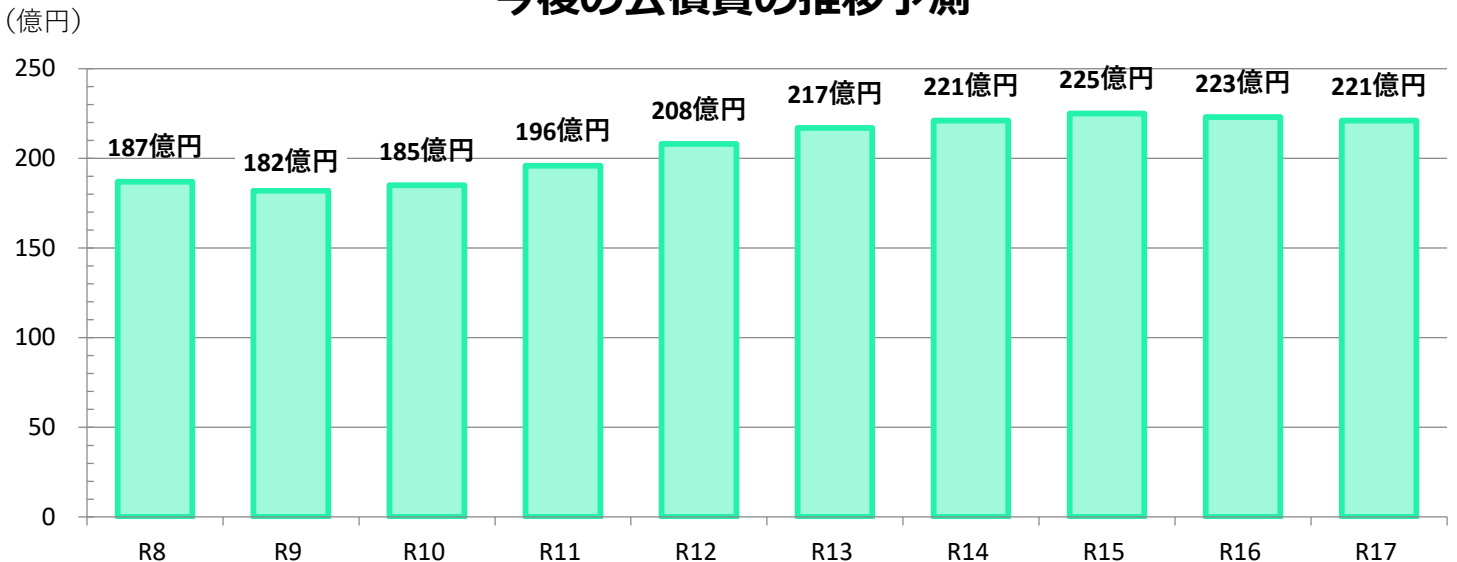
そこで、自治体間で比較できるようにした統一的な基準となる会計区分を「普通会計」と言います。

公債費の推移



※令和3年度の公債費は198億円と急増していますが、臨時財政対策債の償還費として普通交付税が追加交付され、繰上償還を行ったことによります。実質的には171億円でした。

今後の公債費の推移予測



返済は大丈夫なの？

市債の返済金を「公債費」といい、市税などの一般財源で返済しています。

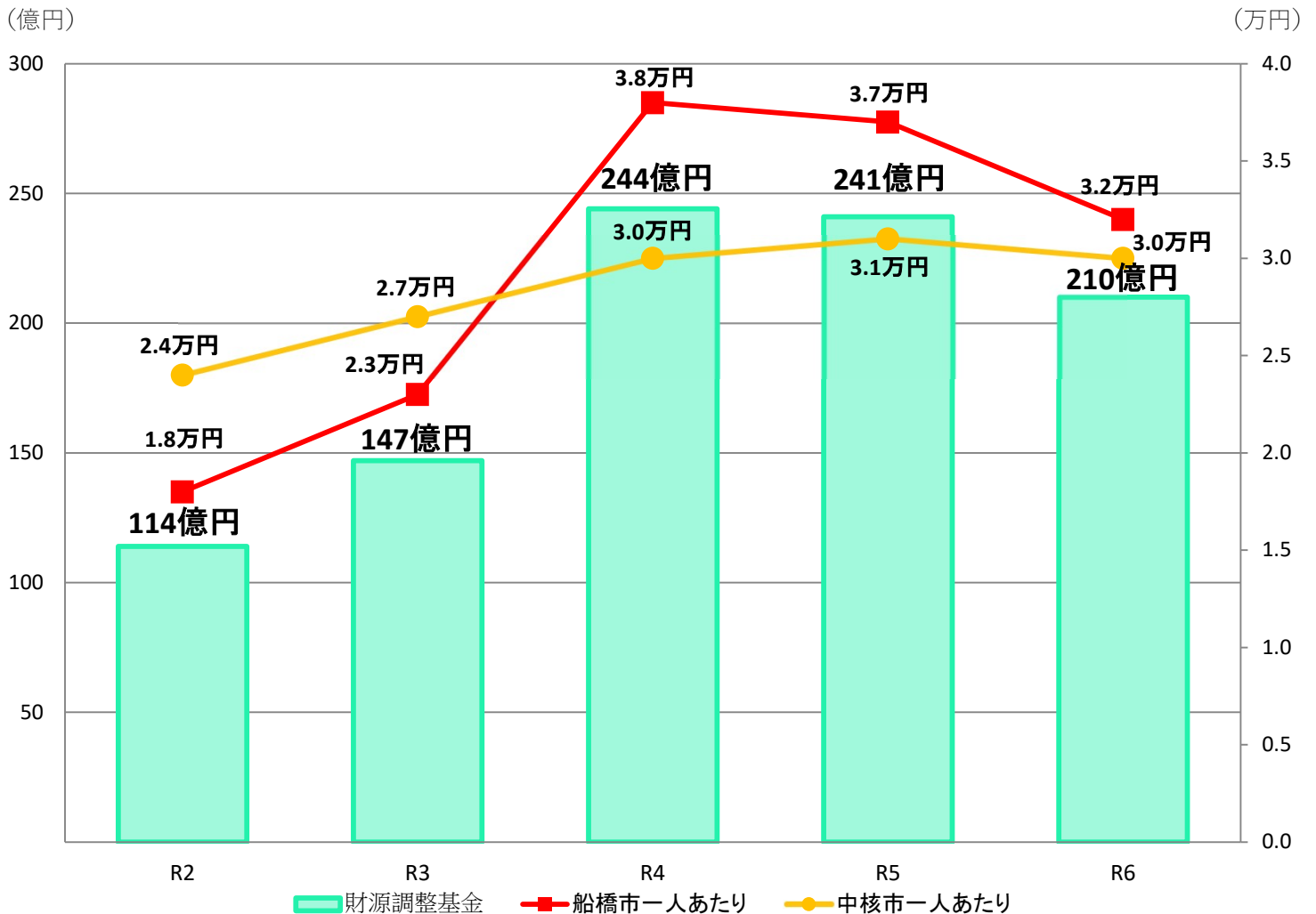
令和6年度の公債費の決算額（普通会計）は190億円で、市民一人あたりの金額は29,318円となります。これは全国の中核市62市（平均38,544円）の中で16番目に少ない額となっています。

今後も公共施設の老朽化や長寿命化への対応を行う必要があるため、引き続き普通建設事業の優先順位付けを行うことで、将来の公債費の負担が軽くなるように取り組んでいきます。

貯金はあるの？

市には、急激な収入の落ち込みや、災害復旧などの想定外の支出の増加などに備えるための貯金があります。これを「財源調整基金」と言い、毎年、決算の時に余ったお金（剰余金）等から積み立てています。

基金残高の推移



財政状況の比較は「中核市同士」で

同じ自治体と言っても、村や町から人口が100万人を超える市まで様々です。また、自治体により必要とされる行政サービスが異なります。

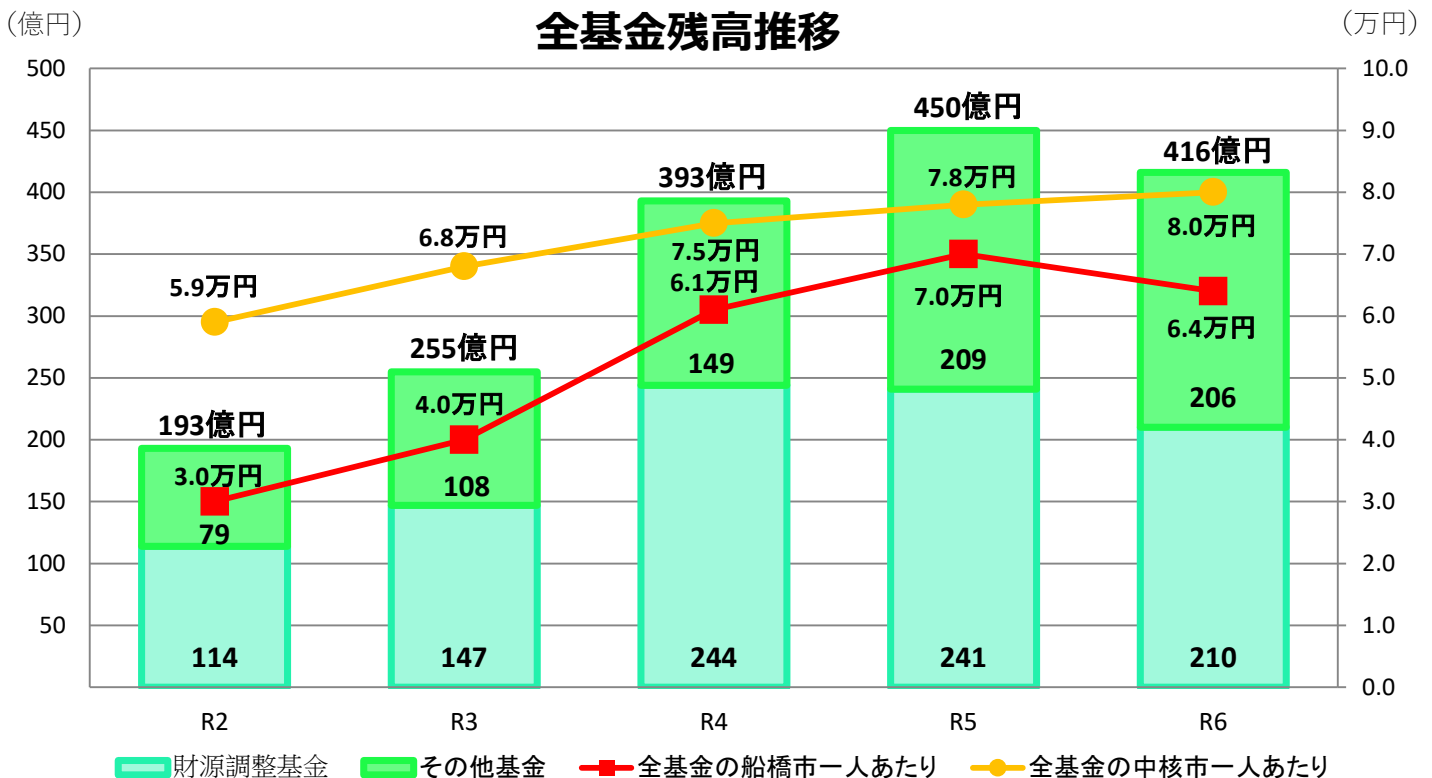
特に、政令指定都市（千葉市など）や中核市（船橋市、柏市など）は、都道府県で行う仕事の一部を行っているため、普通の市と比べると行っている仕事や必要となる財源が大きく異なります。そのため、財政状況を他市と比較するときには、船橋市と同じ中核市同士で比較します。

その他の貯金はどのようなものがあるの？

財源調整基金の他にも、特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立てる貯金（積立基金）や一定額の貯金そのものを運用し、事業を行うための貯金（定額運用基金）があります。

	基金の名称	目的
積立基金	職員退職手当基金	退職手当の財源に充てるため
	減債基金	市債の償還に必要な財源を確保するため
	公園緑地整備基金	公園の整備、緑の保全、緑化の推進を図るため
	福祉基金	地域福祉の増進に資するため
	一般廃棄物処理施設等整備基金	施設の整備に必要な資金を積み立てるため
	文化振興基金	文化の振興に資するため
	森林環境譲与税基金	森林の整備及びその促進に関する施策の財源に充てるため
	公共施設保全等基金	公共施設の計画的な保全や更新に必要な財源に充てるため
	医療センター整備基金	医療センターの整備に必要な資金を積み立てるため
	青少年健全育成基金	青少年の健全育成に寄与する事業を推進し、青少年の健全育成を図るため
定額運用基金	高額療養費貸付基金	高額療養費の貸し付けのため
	文化芸術ホール事業基金	自主事業を円滑かつ効率的に行うため

船橋市の貯金額はどれくらい？



財源調整基金は中核市の平均以上にありますが、全基金残高で比較すると、市民一人あたりの貯金は少ない方です。

財源調整基金では・・・

船橋市 1人あたり3.2万円
 中核市 1人あたり3.0万円
 船橋市 **23位** / 62市中

全基金では・・・

船橋市 1人あたり6.4万円
 中核市 1人あたり8.0万円
 船橋市 **37位** / 62市中

令和8年度予算の主要事業

令和8年度の予算は、「人も まちも 輝く 笑顔あふれる 船橋」の実現を目指し、安心して子どもを産み育てることのできる環境の整備や、児童・生徒への多様な支援体制の整備、教育環境の充実、自然災害等への対策、都市基盤の整備など、社会情勢の変化や生じている課題に対応するために、今取り組むべき施策を中心に配分しました。

ここでは、令和8年度予算に計上した主要事業を、自治体DXに向けた取り組みと第3次総合計画(※)基本構想の5つの「めざすまちの姿」ごとにご紹介します。

※第3次総合計画は「基本構想－基本計画－実施計画」で構成され、基本構想及び基本計画の計画期間は令和4年度から令和13年度までの10年間となっております。

自治体DXに向けた取り組み

● 窓口支援システムの導入（1億1653万円）

市民の利便性向上と職員の負担軽減につながる「迷わない・書かない・行かない・滞留しない・途切れない」窓口を実現するため、本庁舎に新システムを導入します。

● 災害情報共有システムの導入（352万円）

災害対策本部での情報共有や意思決定、市民への情報提供を迅速化するため、災害情報共有システムを導入します。

● 特別支援学校のスクールバスに位置情報アプリの導入（77万円）

遅延等が発生した際に、バス停で子どもたちが長時間バスを待つことがないように、市内全域を運行する特別支援学校のスクールバスに、位置情報アプリを導入します。

● アーティストバンクサイトの構築（703万円）

市ゆかりの文化芸術活動を行う団体やアーティストとその発表の場を、一覧で誰もが検索できるホームページを構築します。

一人一人が自分らしく輝くまち

● スクールカウンセラーの配置の拡大（9640万円）

全市立中学校へ県が派遣しているスクールカウンセラーに加え、市独自で新たに11校へスクールカウンセラーを配置します。

● 小・中・特別支援学校給食事業（4億5550万円）

市立小学校・特別支援学校小学部は、国が示す「学校給食費の抜本的な負担軽減」を踏まえ、本市の公費負担とあわせて無償とします。また、市立中学校・特別支援学校中学部・高等部の学校給食は、食材料費のさらなる高騰に対応するため、本市の公費負担を引き上げ、引き続き質の高い給食を維持します。

● 朝の子供居場所づくり事業（1378万円）

いわゆる「小1の壁」が全国的な課題となっていることを受け、保護者の出勤時刻等の理由で、子どもだけで過ごす時間ができてしまう児童に対し、学校内で安心して過ごすことができる朝の居場所づくりを推進します。

● 校舎等建て替え・増築事業（30億3556万円）

海神中・宮本中・御滝中の校舎等の建て替えに引き続き取り組みます。また薬円台小学校は、建て替えのほか、近隣の小学校が共同利用する拠点プール整備のための基本設計を実施します。

● 国家公務員宿舎跡地活用事業（9億652万円）

学校用地として取得した国家公務員宿舎船橋行田住宅跡地に、行田中・市立船橋高等学校のグラウンドを整備します。

● 文化芸術活動支援補助事業（463万円）

市民が主体的に文化芸術に親しみ、活動する環境がさらに充実するよう、団体・個人の自主的な文化芸術活動を支援する新たな補助金を創設します。

● 姉妹都市等交流・記念事業（1489万円）

令和8年は、ハイワード市姉妹都市提携40周年を迎えることから記念事業を行います。また、青少年健全育成基金（※）を活用して、高校生をハイワード市へ派遣する費用を助成します。

※個人及び企業から青少年の健全育成に資する事業に活用してほしいとの意向で寄附を受けたことから、令和7年度に新たに設置した基金

住み慣れた地域で、健康で安心して暮らせるまち

● 児童相談所運営事業（1億6572万円）

船橋の全ての子どもの安全で安心な生活を守り、健やかな成長と発達を切れ目なく支援する拠点として、令和8年7月に児童相談所を開設します。

また、これまで家庭児童相談室や子育て世代包括支援センターが担ってきた児童福祉や母子保健機能に加え、ヤングケアラー相談などを含め、一体的に妊産婦、子育て家庭や子どもへの相談支援を行う「こども家庭センター」を令和8年4月に開設し、児童相談所との連携により、児童虐待の発生予防体制を強化します。



▲ 児童相談所

● 不登校支援事業（1806万円）

学校内外の機関等とつながりを持たずにいる不登校の子ども・保護者の悩みやニーズに対応するため、高根台児童ホーム2階の一部を改修し、子どもの居場所の提供及び相談業務等を実施します。

● プレーパーク事業（93万円）

屋外での遊びを通して、子どもの自主性及び創造性を育むため、市民団体等が実施するプレーパーク活動等の費用を新たに助成します。

● 医療的ケア児在宅レスパイト（家族の休息）事業（792万円）

在宅の医療的ケア児の看護や介護を行う家族の休息時間の確保を図るため、医療保険の適用外となる訪問看護を利用した場合に発生する費用を助成します。

● 医療的ケア児通所支援受入促進事業（899万円）

児童発達支援事業所等での医療的ケア児の受け入れ拡大を図るため、受け入れるために要した看護師配置・訪問看護師派遣費用の一部を助成します。

● 5歳児健康診査（430万円）

発達特性等の早期発見・早期支援につなげるとともに、生活習慣、その他育児に関する指導を行い、幼児の健康の保持及び増進を図るため、5歳児健康診査を実施します。

● 障害者（児）総合相談支援事業（1億2175万円）

グループホーム利用希望者に対して障害特性に応じたグループホームの情報提供等や、グループホーム利用者や事業者からのグループホームに関するさまざまな相談に応じ、支援等を行うグループホーム支援ワーカーを基幹相談支援センター「ふらっと船橋」に配置します。

活力と魅力にあふれ、進化し続けるまち

● 「ふなばしメディカルタウン構想」に基づく海老川上流地区のまちづくり （22億1028万円）

「ふなばしメディカルタウン構想」の実現を目指している海老川上流地区のまちづくりについて、引き続き土地区画整理事業の支援を行うとともに、東葉高速鉄道株式会社が実施する新たな駅施設の整備等に要する費用を負担します。

● 船橋駅周辺まちづくり構想策定事業（2087万円）

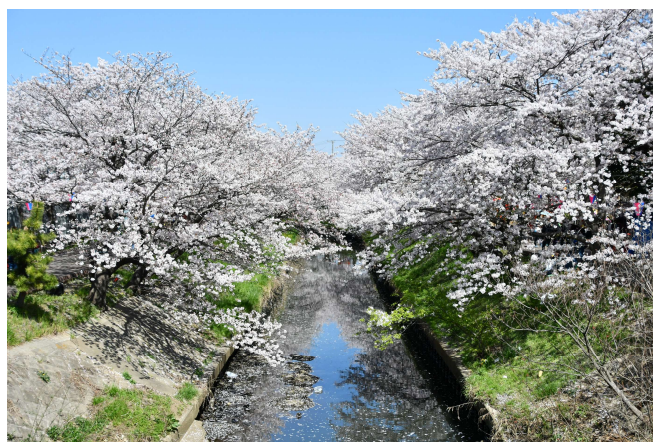
船橋駅周辺の計画的なまちづくりを推進するため、駅周辺の目指すべき将来像やその実現に向けたまちづくりの方針、取り組みのイメージなどを示すまちづくり構想を9年度にかけて策定します。

● 市街化調整区域土地利用方針検討調査 （624万円）

市域全体で計画的なまちづくりを進めるため、市街化調整区域について、地域の現状等に応じ、地域ごとの土地利用の方向性を示すための調査・検討を10年度にかけて行います。

● 桜の保全調査業務（1000万円）

本市の象徴的な景観である海老川ジョギングロードの桜並木を、将来にわたって維持・継承するため、桜の保全調査を行います。



▲ 海老川の桜並木

快適で豊かに暮らせる、人と環境にやさしいまち

● 都市計画道路の整備事業（14億5587万円）

慢性的な交通渋滞を緩和し、円滑な道路ネットワークを構築するため、船橋市道路整備プログラムに基づき、都市計画道路3・3・7号線（旭町工区）で事業認可取得に向けて設計を行います。また、現在事業中の都市計画道路3・3・7号線（海神工区）など5路線で用地買収や道路改良等を行います。

● 道路啓開計画の策定（558万円）

災害で道路が通行不能になった際、応急的に緊急車両の通行を可能にする手順等を定める道路啓開計画を策定します。

● 公園の整備事業（3億2844万円）

市民が身近な生活の中で豊かな緑を感じられるよう、（仮称）芝山第3調整池公園の基本設計、（仮称）三山6丁目4号公園及び（仮称）田喜野井1丁目2号公園の実施設計を行います。また、（仮称）丸山3丁目4号公園の整備工事を行います。

● マイボトル用給水機の設置（16万円）

プラスチックごみ削減や熱中症対策を効果的に推進するため、マイボトル用給水機を設置します。

● 環境学習・啓発推進事業（94万円）

スマートフォンアプリを活用した市民参加型の「生きものモニタリング調査」を実施し、継続的に生き物の生息・生育状況の変化を把握します。

命と暮らしを守る強靱なまち

● 空家等適正管理促進事業（1294万円）

管理権限を持つ人が明らかでない空家等について、民法に基づく財産管理制度をより一層活用し、解消を図ります。

● 避難所運営委員会活動支援補助金交付事業（60万円）

避難所運営委員会の活動を促進するため、平時の委員会の活動経費の一部を助成します。

● マンホールトイレの整備（3726万円）

発災時の避難所等での生活環境の向上を図るため、葛飾小・高根台第二小・薬円台南小・三咲小にマンホールトイレを5基ずつ整備します。

● 既存建築物耐震診断・改修等助成事業（6212万円）

木造住宅の耐震診断・除却に対する助成上限額を引き上げます。

● 消防局庁舎建替事業 （10億858万円）

老朽化した消防局庁舎を、国家公務員宿舎船橋行田住宅跡地に移転建て替えます。令和8年度は、新消防局庁舎建設工事を行います。

● 東消防署薬円台出張所の建替事業 （1億9387万円）

東消防署薬円台出張所の移転建て替えのため、用地取得と基本設計を行います。



▲ 新消防局庁舎（イメージ）

あなたに夢を。宝くじ 街に元気を。



市では、(公益)千葉県市町村振興協会から「サマージャンボ宝くじ」と「ハロウィンジャンボ宝くじ」の収益金の配分を受けています。

宝くじの収益金は、都道府県別の販売実績額などによって配分されるので、購入は千葉県内の宝くじ売り場で!!



市の財政に関する詳しい情報は、
市のホームページでもご覧いただけます。

<https://www.city.funabashi.lg.jp/>



トップページ



市政・市の紹介



財政(予算・決算)

令和8年4月